

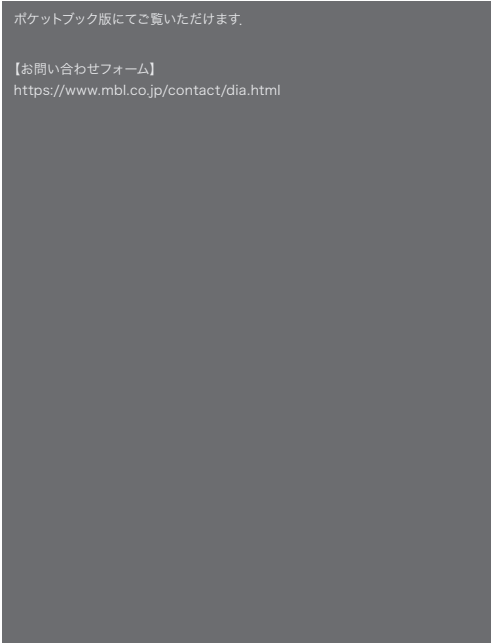


MCTD 合併肺動脈性肺高血圧症 (PAH) の治療ガイドライン (2011)

ポケットブック版にてご覧いただけます。

【お問い合わせフォーム】

<https://www.mbl.co.jp/contact/dia.html>



シェーグレン症候群 (SS)

シェーグレン症候群 (SS) は主として中年女性に好発する涙腺・唾液腺の外分泌機能低下を特徴とする自己免疫疾患です。リンパ球が涙腺・唾液腺に浸潤し、それが外分泌機能低下に深く関わっていると考えられています。

SS は、他の膠原病と合併しない原発性 SS (橋本病、原発性胆汁性胆管炎 (PBC) を含む) と膠原病の合併がある続発性 SS に分類されます。SS は関節リウマチ (RA) の 30% 以上に合併することが知られています。SLE, MCTD, 全身性強皮症等との合併も少なくありません。

臨床的特徴

口腔・目の乾燥、唾液腺・涙液腺腫脹、関節症状、肺・肝・腎・甲状腺・リンパ節などの炎症性病変、皮膚症状、環状紅斑、レイノー現象



| 関連自己抗体 | | | |
|-----------|--|---|------|
| 自己抗体 | 疾患、病態との関連 | MBL 関連製品 | 診断基準 |
| 抗核抗体 | | CLEIA ステイシア MEBLux™ テスト ANA ELISA MESACUP™ ANA テスト IIF 法 フルオロ HEPANA テスト | |
| 抗 SS-A 抗体 | SS に高率に出現。 (他の膠原病でも出現。) | CLEIA ステイシア MEBLux™ テスト SS-A ELISA MESACUP™-2 テスト SS-A | ◎ |
| 抗 SS-B 抗体 | SS 特異的。 (本抗体が出現する場合には、通常 SS-A 抗体が併存。) | CLEIA ステイシア MEBLux™ テスト SS-B ELISA MESACUP™-3 テスト SS-B | ◎ |

シェーグレン症候群 (SS) の改訂診断基準

厚生省特定疾患免疫疾患調査研究班, 1999年

1. 生検病理組織検査で次のいずれかの陽性所見を認めること
 - A) 口唇腺組織でリンパ球浸潤が 4 mm^2 当たり 1 focus 以上
 - B) 涙腺組織でリンパ球浸潤が 4 mm^2 当たり 1 focus 以上
2. 口腔検査で次のいずれかの陽性所見を認めること
 - A) 唾液腺造影で stage I (直径 1 mm 以下の小点状陰影) 以上の異常所見
 - B) 唾液分泌量低下 (ガムテスト 10 分間で 10 mL 以下, またはサクソテスト 2 分間 2 g 以下) があり, かつ唾液腺シンチグラフィにて機能低下の所見
3. 眼科検査で次のいずれかの陽性所見を認めること
 - A) シルマー (Schirmer) 試験で $5 \text{ mm}/5 \text{ min}$ 以下で, かつローズベンガルテスト (van Bijsterveld スコア) で陽性
 - B) シルマー (Schirmer) 試験で $5 \text{ mm}/5 \text{ min}$ 以下で, かつ蛍光色素 (フルオレセイン) 試験で陽性
4. 血清検査で次のいずれかの陽性所見を認めること
 - A) 抗 SS-A 抗体陽性
 - B) 抗 SS-B 抗体陽性

診断のカテゴリー

以上 1, 2, 3, 4 のいずれか 2 項目が陽性であればシェーグレン症候群と診断する。

出典: 厚生労働省ホームページ (2018年3月現在)

シェーグレン症候群の治療

ポケットブック版にてご覧いただけます。

【お問い合わせフォーム】

<https://www.mbl.co.jp/contact/dia.html>